




Dell Command | Update

バージョン **2.1** ユーザーズガイド



メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2015 - 06

Rev. A00

目次

1 本書について.....	5
新機能.....	5
2 セットアップ.....	6
概要.....	6
Dell Command Update のインストール.....	6
アンインストール Dell Command Update.....	7
Dell Command Update のアップグレード.....	7
サイレントインストール.....	7
アクティビティログ.....	7
アクティビティログの表示とエクスポート.....	8
3 Dell Command Update – はじめに.....	9
ヘッダバナー.....	10
左側ペイン.....	10
コンテンツ領域.....	11
詳細ドライバ復元.....	11
4 Dell Command Update の使用.....	12
ドライバライブラリのダウンロードとインストール.....	12
アップデートのチェックとインストール.....	12
アップデートの選択.....	14
アップデートのカスタマイズ.....	14
依存関係のインストール.....	15
非表示のアップデート.....	16
使用可能なアップデートのリストからのアップデートの削除.....	16
使用可能なアップデートのリストへのアップデートの復元.....	16
アップデート履歴.....	16
システム復元.....	17
アップデートの履歴の表示.....	17
システム情報の表示とエクスポート.....	17
Dell Command Update コマンドラインインタフェースオプション.....	17
CLI リファレンス.....	18
CLI スイッチのコンビネーションの使用.....	20
5 Dell Command Update 設定.....	21
一般設定.....	21
アップデートソースの場所.....	22

アップデートチェックのスケジュール作成.....	22
アップデートフィルタ設定の実行.....	23
設定のエクスポートまたはインポート.....	23
ポリシーファイル.....	24
ポリシーファイルの作成.....	24
policy.xml ファイルデータの例.....	24
ポリシーファイルへの設定の追加.....	25
ポリシーファイルからの設定の削除.....	26
詳細ドライバ復元の設定.....	27
6 デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....	28
7 デルへのお問い合わせ.....	29

本書について

Dell Command | Update を使って、Dell システムを最新のドライバ、BIOS、ファームウェア、および Dell ソフトウェアのアプリケーションでアップデートします。

本ガイドに加えて、参照用に必要なその他の製品ガイドがあります。これらは、Dell サポートウェブサイト dell.com/support/manuals にあります。

- 『*Hardware Owner's Manual*』（ハードウェアオーナーズマニュアル）は、システム、システムコンポーネントの取り付け、およびシステムのトラブルシューティングに関する情報を提供します。

新機能

本リリースでは、Dell Command | Update は次の機能を提供します。

- Windows 10 オペレーティングシステムのサポート
- Dell Command | Update に関するフィードバック提供のサポート
- お使いのシステムで BitLocker が有効にされている場合の通知

セットアップ


本項では、Dell Command | Update を使用するために必要な前提条件および要件を記載しています。また、このツールの概要、インストールとアンインストールの手順も説明されています。

概要

Dell Command | Update は、Dell クライアントシステムを最新のドライバ、BIOS、およびファームウェアでアップデートするために使用することができるグラフィカルユーザーインターフェイス（GUI）およびコマンドラインインターフェイス（CLI） ツールです。これは 1 対 1 のスタンドアロンユーティリティです。

Dell Command | Update を使用する利点は次の通りです。

- Dell クライアントシステムのシステム管理とアップデートを単純化します。
- このツールの使用が容易な CLI は、ドライバインストールとアップデートの自動化に使用できます。
- システムに適切なドライバとアップデートを識別して適用するために役立つ、使い勝手の良い GUI を提供します。

 **メモ:** Dell Command | Update を実行するには、NET 4.0 またはそれ以降のバージョンが必要です。

Dell Command | Update のインストール

手順を開始する前に、Dell Command | Update をインストールするクライアントシステムに管理者権限でログインしていることを確認してください。

Dell Command | Update のダウンロード：

1. dell.com/support にアクセスします。
2. **Dell Command | Update 2.1** を検索します。
3. **Systems-Management_Application_K82GG_WN32_2.1.0_A00.exe** をダウンロードします。

Dell Command | Update をインストールするには、次の手順を実行します。

1. **Systems-Management_Application_K82GG_WN32_2.1.0_A00.exe** をダブルクリックします。
2. **インストール** をクリックします。
3. ようこそ画面で **次へ** をクリックします。
4. **ライセンス契約** 画面で **ライセンス契約の条件に同意します** を選択してから、**次へ** をクリックします。
5. インストールの**開始** 画面で **インストール** をクリックします。
6. インストール完了画面で **終了** をクリックします。

7. **OK** をクリックします。

アンインストール Dell Command | Update

プログラムのアンインストールについての情報は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

Dell Command | Update のアップグレード

Dell Command | Update (以前の Dell Client System Update) 2.1 へは、Dell Client System Update バージョン 2.0 または 1.x から、次の方法でアップグレードできます。

1. セルフアップデート：よろこ画面の **チェック** 機能を使用してアップデートをチェックします。詳細については、「[アップデートのチェックとインストール](#)」を参照してください。
2. 手動アップデート：dell.com/support から Dell Command | Update 2.1 をダウンロードしてインストールします。

新しいバージョンの Dell Command | Update がある場合、**推奨アップデート** の下に最新バージョンの Dell Command | Update がリストされます。アップデートを選択して、アプリケーションの新しいバージョンをインストールします。

マイナーなアップグレードの場合は、すべての設定およびポリシー設定は保持されます。メジャーなアップグレードの場合は、アプリケーションがアンインストールされ、設定、およびデータが削除されます。

サイレントインストール

次の方法を使用して、Dell Command | Update のサイレントインストールを実行することができます。

- インストールコマンドラインを使用したサイレントインストールには、コマンド - **DCU_Setup_2_1_0.exe /s /v"/qn"** を使用します。
- Dell Update Packages (DUP) を使用したサイレントインストールには、実行ファイル **Sys-Man_Application_xxxxx_WN_y.y_A00.exe /s** (ここで「x」はソフトウェアのビルド、「y」はバージョン番号) を使用します。

アクティビティログ

アクティビティログ機能は、システムにインストールされたアップデートを表示し、障害や問題を追跡するために役立ちます。Dell Command | Update で生成されたアクティビティログは、次のように分類されます。


- 通常 - 通常メッセージは、Dell Command | Update の通常モードが有効化されるとログファイルに作成されます。これらのメッセージは、アップデートに関する高レベルの詳細を提供します。
- デバッグ - デバッグメッセージは、Dell Command | Update でデバッグモードが有効化されるとログファイルに作成されます。これらのメッセージは、アップデートまたはエラーに関する詳細を提供します。

ActivityLog.xml は、システムの次の場所に XML 形式のテキストファイルとして保存されます：

- Microsoft Windows Vista 以降を搭載したシステムの場合 - C:\ProgramData\Dell\CommandUpdate





ログのルート要素には、システムにインストールされている製品の名前とバージョンが含まれます。ルート要素の下の子要素は次のように表示されます。

要素名	説明
<level>	アクティビティログのレベル。
<timestamp>	ログが作成されたときのタイムスタンプ。
<source>	アプリケーション操作。
<message>	ブログエントリの詳細情報。
<data>	ログエントリの追加情報を示します。

 **メモ:** 上記要素の形式および内容はオペレーティングシステムに基づいており、ユーザーによる変更が可能です。

アクティビティログの表示とエクスポート


アクティビティログを表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ画面で、**アクティビティログ** をクリックします。
アクティビティログ 画面が表示されます。
 デフォルトでは、過去 7 日、15 日、30 日間、90 日、または、1 年間に実行されたアクティビティが表示されます。ドロップダウンリストからは、期間を設定することができます。
2. ドロップダウンメニューから、Dell Command | Update がシステムで実行したアップデートを表示させたい日数を選択します。例えば、**過去 15 日** を選択すると、過去 15 日間に Dell Command | Update が実行したアップデートアクティビティを表示することができます。
3.  **メモ:** この操作を元に戻すことはできません。
 (オプション) ログをクリアするには、**クリア** をクリックします。
4. (オプション)  をクリックして、アプリケーションエラーメッセージなどのメッセージログエントリに関する詳細情報を表示します。この情報は、エクスポートされたログファイルでも表示できます。
5. (オプション) エラーまたは障害ログエントリの横にある **注意** をクリックして、可能性のある破損または問題を回避する方法についての情報を表示します。
6.  **メモ:** 新しいバージョンが使用可能な場合は、**inventory.xml** ファイルが **dell.com/support** からアップデートされます。
 (オプション) **エクスポート** をクリックして、アクティビティログを XML 形式で zip ファイルにエクスポートします。その zip ファイルには、**inventory.xml** ファイルも格納されます。
7. 日付またはメッセージタイプ順に列の順序を変更または並べ替えるには、 (日付またはメッセージの横) をクリックします。
8. **保存** をクリックして変更を保存する、または **キャンセル** をクリックして前回保存された設定に戻します。
9. **閉じる** をクリックすると、**ようこそ** 画面に戻ります。


Dell Command | Update – はじめに

Dell Command | Update を手動または自動で初めて起動するときは、Dell Command | Update – セットアップ画面にアップデートを検出、確認、およびインストールのための次のセットアップオプションが表示されます。

表 1. セットアップオプション

オプション	説明
はい、デフォルト設定で自動的に実行します (推奨)	デフォルト設定を使用し、アップデートを自動的にチェックします。デフォルト設定のリストを表示するには、 設定 アイコン  をクリックして、 スケジュール タブの アップデートを自動的にチェックする でデフォルト設定を表示します。
はい、自動で実行しますが、今すぐ設定を確認 / 編集します	定期的に、アップデートを自動でチェックします。ユーザーの要件に基づいて、デフォルトの設定を変更することができます。このオプションを選択すると、 設定 画面が表示されます。 スケジュール タブから、自動的にアップデートの確認を行うオプションを設定します。
いいえ、今は Dell Command Update でアップデートを自動的にチェックしません	Dell Command Update はアップデートを自動的にチェックしません。

デル工場からシステムをお受け取りになったばかりの場合は、4 回目のシステム起動の後で Dell Command | Update が自動で起動し、使用可能なアップデートをスキャンします。この場合、ようこそ画面にはアップデートのチェック機能が提供されませんが、その代わりに使用可能なアップデートのリストが表示され、それらをインストールすることができます。

 **メモ:** Dell Command | Update は、次の場合にのみ自動で起動します。

- Dell Command | Update が工場ですべてインストールされている
- Dell Command | Update が自動で起動する前に手動で起動されていない

Dell Command | Update ようこそ画面は次で構成されています。

1. [ヘッダバナー](#)
2. [左側ペイン](#)
3. [コンテンツ領域](#)

ヘッダバナー

ヘッダバナーには、製品の名前とバージョン番号、および様々なアクティビティのアイコンが含まれています。

表 2. ヘッダバナーのアイコン

アイコン	説明
	各画面のヘルプを表示します（すべての画面の右上隅にあります）。
	設定 画面が表示されます。 設定 画面では、ダウンロードしたアップデートの保管場所、アップデートチェックのスケジュール、アップデートのカスタマイズなどの Dell Command Update オプションをカスタマイズできます。
	アプリケーションを最小化します（すべての画面の右上隅にあります）。
	アプリケーションを最大化します（すべての画面の右上隅にあります）。
	アプリケーションを閉じます（すべての画面の右上隅にあります）。

左側ペイン

次の表に、左ペインにある使用可能なオプションとその説明を示します。

オプション	説明
システムモデル	Dell システムのイメージとモデルを表示します。
サービスタグ	システムの製造元によって提供された製品 ID です。
最後のチェック	システムが最後にアップデートをチェックした日時に関する情報を提供します。
最後の更新	システムが最後にアップデートされた日時に関する情報を提供します。
アップデート履歴	アップデート履歴 画面が表示されます。詳細については「 アップデート履歴 」を参照してください。
システム情報	システム情報 画面が表示されます。詳細については、 システム詳細の表示とエクスポート を参照してください。
アクティビティログ	アクティビティログ 画面が表示されます。詳細については「 アクティビティログ 」を参照してください。

オプション	説明
ご意見をお聞かせください	Dell Command Update についてのフィードバックと満足度評価をご提供いただけるオンラインアンケートが起動します。

コンテンツ領域

コンテンツ領域 から、アップデートをチェックしてインストールすることができます。詳細については「[アップデートのチェックとインストール](#)」を参照してください。

詳細ドライバ復元

Windows 再インストールのための詳細ドライバ復元 オプションを使用することにより、オペレーティングシステム、ネットワークアダプタ（互換性のあるネットワークドライバ搭載）、および Dell Command | Update のインストールのみが含まれる新品または整備済みシステムにドライバをインストールすることもできます。詳細については、「[ドライバライブラリのダウンロードとインストール](#)」を参照してください。

Dell Command | Update の使用

ドライバライブラリのダウンロードとインストール

ドライバライブラリを Dell システムにダウンロードしてインストールするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ 画面で **ここをクリックして完全なドライバライブラリをダウンロードしてインストールする** をクリックします。
ドライバ復元の準備中 画面が表示されます。ドライバインストールタスクには、次のタスクが含まれます。
 - コンポーネントアップデートのチェック – 使用可能なドライバライブラリをチェックします。
 - システムデバイスのスキャン – システムをスキャンして、システム上に存在する様々なデバイスに関する情報を収集します。
 - システムドライバライブラリの検索 – システム上のドライバライブラリを検索し、ドライバのバージョンをチェックして、システム用に使用できるドライバアップデートを判断します。
 - ダウンロードの開始 – システム用に使用できるドライバアップデートを判断し、それらのダウンロードを開始します。
 - ドライバの抽出 – アップデートがダウンロードされたら、システムへのインストールのためにそれらを解凍します。
 - インストールの準備 – オペレーティングシステムでのデジタル署名検証、および復元ポイントの作成に関する進捗状況を示します。
 - ドライバのインストール – y の x 形式でインストールステータスを表示します。ここで「 x 」はインストールされているドライバの数、「 y 」は使用可能ドライバの合計数です。**システムを自動的に再起動する (必要な場合)** チェックボックスを選択して、ドライバのインストール後にシステムを自動で再起動します。
 - インストール完了 – y の x が正常に行われました という形式でドライバインストールの完了を示します。ここで「 x 」はインストールされたドライバの数、「 y 」は使用可能なドライバの数です。

このアクティビティを終了するには、**キャンセル** をクリックしてして **ようこそ** 画面に戻ります。
2. ドライバのインストール完了後、**閉じる** をクリックして **ようこそ** 画面に戻ります。

システムドライバの最新バージョンへのアップデートについての詳細は、「[アップデートのチェックとインストール](#)」を参照してください。

アップデートのチェックとインストール

アップデートをチェックして Dell システムにインストールするには、次の手順を実行してください。

1. ようこそ 画面で、**チェック** をクリックします。
Inventory Collector は、自己完結型のアプリケーションで、デバイスのハードウェア情報を取得するのに使用されます。Inventory Collector は、BIOS、ファームウェア、およびドライバのインベントリステ

ータスを収集します。インベントリステータスは XML 形式で提供されています。Inventory Collector は、インベントリモジュールをシステムのローカルドライブの一時的な場所にコピーし、ネットワーク接続が失われても、インベントリステータス収集が実行されるようにします。

- a. Dell Command | Update は、**ftp.dell.com** または設定したその他のソース場所に接続し、アップデートの有無をチェックします。
- b. **キャンセル** をクリックすると、アップデートをチェックせずに前の画面に戻ります。ソース場所の変更についての情報は、「[一般設定](#)」を参照してください。

アップデートの確認 タスクが開始し、**アップデートの確認** 画面が表示されます。

アップデートの確認 タスクには、次の内容が含まれます。

- コンポーネントのアップデートのチェック
- システムデバイスのスキャン
- 使用可能なアップデートのチェック

アップデートのチェック 画面には、システムスキャンの状態が表示されます。アップデートが見つかる と、Dell Command | Update によってアップデートをインストールするためのプロンプトが表示されます。


アップデートが見つからない場合は、**使用可能なアップデートがありません** 画面が表示され、システム上のデバイスが最新状態であることを示します。**閉じる** をクリックして Dell Command | Update を終了します。

アップデートの可用性とユーザーが設定したプリファランスに基づいて、使用可能なアップデートがありません メッセージが表示されます。この使用可能なアップデートがありません メッセージは、次のような場合に表示されます：

- デフォルトの **ダウンロードフィルタ** プリファランスを維持しており、使用できるアップデートがない場合。
- すべての使用可能なアップデートを非表示として選択する場合。
選択のカスタマイズ 画面でアップデートを表示するには、**表示** をクリックします。**閉じる** をクリックして、**選択したアップデート** 画面に戻ります。

デフォルトの **ダウンロードフィルタ** プリファランスを変更した場合、および使用できるアップデートがない場合には、使用可能なアップデートがありません（現在の「ダウンロードフィルタ」プリファランス設定の基づく）というメッセージが表示されます。

アップデートが見つかった場合は、**選択したアップデート** 画面が表示されます。詳細に関しては、「[アップデートの選択](#)」を参照してください。

2. **カスタマイズ** をクリックして、システムにインストールするアップデートを選択します。**選択のカスタマイズ** 画面が表示されます。
 - a. 以前非表示だったアップデートを表示するには、**非表示のアップデートを表示する** を選択します。
 - b. **閉じる** をクリックして、前の画面に戻ります。詳細に関しては、「[アップデートのカスタマイズ](#)」を参照してください。
3. (オプション) アップデートをインストールした後で Dell Command | Update に自動でシステムを再起動させるには、**システムを自動的に再起動する (必要な場合)** を選択します。
4. **インストール** をクリックして、選択したアップデートをシステムにインストールします。
5.  **メモ:** **キャンセル** をクリックしても、Dell Command | Update はすでに適用されたアップデートをロールバックしません。

アップデートをキャンセルして **よろこ** 画面に戻るには、インストール中に **キャンセル** をクリックします。

新規または再生システムにアップデートをインストールするには、「[詳細ドライバ復元設定](#)」を参照してください。

アップデートの選択

ようこそ画面で **チェック** をクリックすると、**アップデートのチェック** タスクが実行され、システム用に使用できるアップデートがあれば、**選択したアップデート** 画面が表示されます。アップデートサマリが update type <x of y, z MB> 形式で見出しの横に表示されます。ここで、「x」はダウンロードされたアップデートの数、「y」は使用できるアップデートの合計数、「z」は使用可能なアップデートのサイズ (MB) となります。アップデートは、重要度に基づいて次のように分類されます。

- **重要なアップデート** - これらのアップデートは、システムの信頼性および可用性の向上のために重要です。
- **推奨されるアップデート** - これらのアップデートのシステムへのインストールは推奨されます。
- **オプションのアップデート** - これらのアップデートは、オプションのアップデートです。

インストールする必要があるアップデートに、そのアップデートの中間バージョンが必要である場合は、警告が表示されます。アップデートに複数のコンポーネント間における依存関係がある場合、Dell Command | Update はできるだけ新しいバージョンをインストールしますが、これは最新バージョンではないことがあります。このタスクでは、アップデートの最新バージョンのインストールのために、複数のアップデートサイクルが必要となります。詳細については、「[依存関係インストール](#)」を参照してください。

お使いのシステムで BitLocker が有効になっているために一部のアップデートがブロックされていると、警告が表示されます。インストールを続行するには、コントロールパネルをクリックして、BitLocker を一時停止します。BitLocker は、システムへのアップデートのインストール後に再開することが推奨されます。

電源アダプタをシステムに接続しなければ一部のアップデートをインストールすることができない場合、警告が表示されます。









アップデートのカスタマイズ

選択したアップデート 画面で、**カスタマイズ** をクリックして**選択のカスタマイズ** 画面を表示します。この画面には、コンポーネントの名前、サイズ、およびリリース日などの詳細情報が他の情報とともに表示され、システムに適用するアップデートの選択に役立ちます。アップデートは、割り当てられた重大度に基づいて次のようにグループ化されます。

- **重要なアップデート (y の x、サイズ)** : システムで使用可能な重要なアップデートが表示されます。また、重要なアップデートの選択を変更します。アップデートには、以下の情報が含まれています。
 - アップデートの名前。
 - アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。
 - アップデートパッケージが最後にリリースされた日付を表示します。
 - 中間アップデートが必要である場合は、警告メッセージが表示されます。
- **推奨されるアップデート (y の x、サイズ)** : システムに対する推奨アップデートを表示します。アップデートには、以下の情報が含まれています。
 - アップデートの名前。

- アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。
- アップデートパッケージが最後にリリースされた日付を表示します。
- 中間アップデートが必要である場合は、警告メッセージが表示されます。
- **オプションのアップデート (y の x、サイズ) :** システムに対するオプションのアップデートを表示します。アップデートには、以下の情報が含まれています。
 - アップデートの名前。
 - アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。
 - アップデートパッケージが最後にリリースされた日付を表示します。
 - 中間アップデートが必要である場合は、警告メッセージが表示されます。


表 3. 選択のカスタマイズオプション

ユーザーインターフェース	説明
	このアイコンがアップデートの横に表示されている場合は、アップデートをパッケージを適用するために電源アダプタをシステムに接続してください。これはノートブックまたはタブレットシステム上の BIOS またはファームウェアアップデートの場合のみに限られます。
	アップデートの横にこのアイコンが表示される場合は、アップデートパッケージの適用のために、コントロールパネル から BitLocker を一時停止してください。  メモ: BitLocker は、システムへのアップデートのインストール後に再開することが推奨されます。
	このアイコンをクリックしてアップデートを非表示にします。特定のコンポーネントアップデートを非表示にして、非表示にするよう選択したアップデートが今後のシステムスキャンにリストされないようにします。非表示のアップデートを表示する チェックボックスを選択して非表示のアップデートを表示すると、アイコンが  に変わります。  メモ: アップデートを非表示にすると、利用可能なアップデートはありません 画面が表示されます。表示 をクリックして 選択のカスタマイズ 画面上にアップデートを表示し、閉じる をクリックして 選択したアップデート 画面に戻ります。
	これをクリックして、アップデートパッケージについての追加詳細情報を示すツールチップを表示します。
	これをクリックしてアップデートパッケージの dell.com/support ウェブページを開き、完全な詳細を表示します。

依存関係のインストール


Dell Command | Update は、システム用の最新アップデートを特定するためにアップデートパッケージを使用します。アップデートパッケージには、BIOS、ファームウェア、ドライバ、およびソフトウェアにおける機能拡張と変更が含まれています。ほとんどの場合、アップデートは自己充足型で、プレインストールと、該当する依存関係を実行します。システムにある既存の Dell Command | Update のバージョンが古いバージョンである場合、それを推奨バージョンにアップデートする前に、最新バージョンにアップグレードすることが必要となる場合があります。推奨バージョンがインストールされるまでは、Dell Command | Update を使用してアップデートのアップグレードをチェックすることができます。

たとえば、お使いのシステムにバージョン A01 の BIOS がインストールされており、アップデート用にバージョン A05 が使用可能であるとします。しかし、A05 にアップデートするには、まず最初にシステムをバージョン A03 にアップデートする必要があります。Dell Command | Update は、システムをバージョン A03 にアップデートしてから、バージョン A05 にアップグレードします。

 **メモ:** インストールするアップデートに依存関係がある場合、Dell Command | Update はアップデートプロセス中に重要アラートで通知を行います。

非表示のアップデート


非表示のアップデート 機能では、省略するアップデートを指定し、使用可能なアップデートのリストからそれらを削除することができます。非表示のアップデートは、**非表示アップデートの表示** チェックボックスを選択することによって、**選択のカスタマイズ** 画面で表示することができます。

 **メモ:** 使用可能なアップデートの前提条件である以前のバージョンのインストールが非表示になっている場合、システムはそれ以降のアップデートを表示しません。最新バージョンをインストールするには、以前のバージョンを表示してインストールする必要があります。

次回スキャンの実行で特定タイプのアップデートを除外するには、**アップデートフィルタ** 設定を使用します。詳細については「[アップデートフィルタの設定](#)」を参照してください。


使用可能なアップデートのリストからのアップデートの削除

使用可能なアップデートのリストからアップデートを削除するには、次の手順を実行します。

1. **選択のカスタマイズ** 画面で、 をクリックします。
アップデートが使用可能なアップデートのリストから削除されます。このアップデートは、次回のシステムスキャン実行時には使用可能なアップデートのリストに表示されません。
2. **閉じる** をクリックして、**選択されたアップデート** 画面に戻ります。

使用可能なアップデートのリストへのアップデートの復元

使用可能なアップデートのリストにアップデートを復元するには、次の手順を実行します。

1. **選択のカスタマイズ** 画面で、 をクリックします。
アップデートが使用可能なアップデートのリストに復元されます。
2. **閉じる** をクリックして、**選択されたアップデート** 画面に戻ります。


アップデート履歴

アップデートの履歴 画面では、これまでにシステムにインストールされたアップデートの詳細を表示することができます。この詳細は、コンポーネントの名前、コンポーネントの種類、アップデートされた日付、およびシステムで利用可能なコンポーネントの現在または最新のバージョンで構成されます。

アップデートのインストール時、Dell Command | Update は常に Dell アップデートと呼ばれる復元ポイントをオペレーティングシステム内に作成します。復元ポイントは、アップデートをシステムのファイル、インストールされたアプリケーション、および Windows レジストリに戻すために使用できるタイムスタンプです。復元ポイントのリストは、**システム復元** ウィンドウで表示することができます。

システム復元

システムの復元 ウィンドウを使用しても、システムに行ったアップデートのバッチを元に戻すことができます。

 **メモ:** BIOS またはファームウェアのアップデートは、ハードウェアに保存されるため、**システムの復元** ウィンドウを使用しても元に戻すことはできません。

アップデートの履歴の表示

アップデートの履歴を表示するには、次の手順を実行します。

1. ようこそ 画面で、**アップデートの履歴** をクリックします。
アップデートの履歴 画面が表示されます。
複数のアップデートが存在する場合は、各行の長さをそれぞれ変更して詳細を表示することができます。
2. **閉じる** をクリックして、**ようこそ** 画面に戻ります。

システム情報の表示とエクスポート

システム詳細を表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. ようこそ 画面で、**システム情報** をクリックします。
システムのドライバ、BIOS、アプリケーション設定を示した、**システム情報** 画面が表示されます。
2. **エクスポート** をクリックすると、システムの詳細が XML 形式で保存されます。
3. **閉じる** をクリックすると、**ようこそ** 画面に戻ります。

Dell Command | Update コマンドラインインタフェースオプション

コマンドラインインタフェース (CLI) は、管理者がアップデートのために自動リモート展開インフラストラクチャを使用することを可能にします。コマンドラインインタフェースは基本オプションを提供し、アプリケーションの GUI バージョンがサポートする機能のすべては含まれません。

Dell Command | Update は、バッチおよびスクリプティングシナリオでの使用のために、アプリケーションのコマンドラインバージョンを提供します。CLI は完全自動化されており、インタラクティブなユーザープロンプトはありません。カタログの場所の設定、新しいポリシーファイルのインポート、デフォルトログの場所の変更などの基本的なランタイムオプションがコマンドラインパラメータとして提供されています。

CLI インタフェースを実行する：Dell Command | Update インストールフォルダから、コマンドプロンプトで `dcu-cli.exe` を実行します。

どのオプションを使用できるかについての追加情報を表示する: Dell Command | Update インストールフォルダから、コマンドプロンプトで `dcu-cli.exe -?` を実行します。

Dell Command | Update CLI は、実行完了後に次のリターンコードを提供します。

- 0 = OK/ 成功
- 1 = 再起動が必要です
- 2 = 致命的なエラー
- 3 = エラー
- 4 = 無効なシステム

`DCU-cli.exe` を実行するときにパラメータが提供されていない場合は、使用可能なアップデートのチェック、ダウンロード、およびインストールがデフォルト動作となります。

メモ:

- 一部のアップデートは、電源アダプタがシステムに接続されていなければインストールできません。
- 一部のアップデートがインストールの完了に再起動を必須とする場合でも、自動的にシステムが再起動することはありません。

CLI リファレンス


次の表には、Dell Command | Update で使用できる CLI オプションについての情報がリストされています。

CLI 構文は次のとおりです。

`dcu-cli.exe <option1> [<value1>] <option2> [<value2>]...`

表 4. CLI リファレンス

CLI オプション	説明	構文
<code>/?</code>	すべての CLI オプションの使用方法を印刷する  メモ: その他すべてのオプションは <code>/?</code> で無視されます。	<code>dcu-cli.exe /?</code>
<code>/catalog</code>	リポジトリとカタログファイルの場所を設定します。<value> はログディレクトリのパスです。 <code>/catalog</code> パラメータは、パスのリストを受け入れず、単一のパスのみを受け入れます。 複数のパスを含める場合、例えばバックアップの場所を持つ場合は、 <code>/policy</code> オプションを使用します。	<code>dcu-cli.exe /catalog \</code> <code>\MyServer</code> <code>\MyRepositoryShare</code> <code>\MyCatalog.xml</code> マップされたドライブの場合 <code>:dcu-cli.exe /catalog \\Z:</code> <code>\MyRepositoryFolder</code> <code>\MyCatalog.xmlMyServer</code> <code>\MyRepositoryShare</code> <code>\MyCatalog.xml</code>
<code>/help</code>	<code>/?</code> と同じ結果	<code>dcu-cli.exe /help</code>

CLI オプション	説明	構文
/log	ファイルディレクトリを設定します。<value> はログディレクトリのパスです。	dcu-cli.exe /log C:\logs
/policy	1 回の実行時間の長さに対する設定を決定するポリシーファイルを指定します。<value> はポリシーのパスです。 ポリシーファイルには、1 つ、または複数の CLI のパスを含めることができます。	dcu-cli.exe /policy C:\temp\MyPolicy.xml
/import	ポリシーファイルをインポートします。ファイルを指定するには、/policy オプションが必要です。	dcu-cli.exe /import /policy C:\temp\MyPolicy.xml
	 メモ: この構文は、他のオプションと組み合わせて使用することはできません。	
/reboot	自動的にシステムを起動します (1 つ、または複数のアップデートによって必要とされる場合)	dcu-cli.exe /reboot
/report	使用可能なアップデートのみのレポートを XML フォーマットで作成します (アップデートは実行されません)。<value> はレポート出力ファイルのパスです。	dcu-cli.exe /report C:\report.xml
/silent	CLI オプションをサイレントに実行します (状態出力は表示されません)。	dcu-cli.exe /silent
/hidden	現在の非表示アップデートのリストを表示します。	dcu-cli.exe /hidden
	 メモ: この構文は、他のオプションと組み合わせて使用することはできません。	
/driverRestore	ドライバの再インストールを有効にします。ローカルの CAB ファイルを使用するには、cab パスを指定します。	/driverRestore または /driverRestore <path_to_cab>
	 メモ: パスが指定されていない場合、Dell Command Update はシステム設定に固有の Dell cab ファイルを使用します。	

コマンド例

- リポジトリまたはカタログファイルの場所を設定する場合：
<c:\catalog.xml>:dcu-cli.exe /catalog c:\catalog.xml
- 新しいポリシーファイルをインポートする場合：
<c:\log.txt>: dcu-cli.exe /policy c:\log.txt

CLI スイッチのコンビネーションの使用

次の表には、Dell Command | Update CLI の各種スイッチが組み合わせられたときに予測される動作がリストされています。

表 5. Dell Command | Update CLI スイッチの組み合わせマトリックス

	/reboot	/silent	/log	/catalog	/import	/policy	/report	/hidden	/driverRestore
/reboot	✗	✓	✓	✓	✗	✓	✓	✗	✓
/silent	✓	✗	✓	✓	✗	✓	✓	✗	✓
/log	✓	✓	✗	✓	✗	✓	✓	✗	✓
/catalog	✓	✓	✓	✗	✗	✓	✓	✗	✗
/import	✗	✗	✗	✗	✗	✓	✗	✗	✗
/policy	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✓	✗	✗
/report	✓	✓	✓	✓	✗	✓	✗	✗	✗
/hidden	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗
/driverRestore	✓	✓	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗



- スイッチの組み合わせがサポートされていることを示します。




- スイッチの組み合わせがサポートされていないことを示します。

Dell Command | Update 設定

設定 画面では、アップデート、アップデートのフィルタオプション、アップデートのダウンロードのためのスケジュール、インターネットプロキシ、エクスポートまたはインポート設定をダウンロードして保管する場所、およびドライバライブラリをダウンロードする場所のための設定を行い、これらをカスタマイズすることができます。この画面には、次のタブがあります。


- **一般** – アップデート、およびインターネットプロキシ設定をダウンロードして保管する場所の設定と変更についての情報は、「[一般設定の実行](#)」の項を参照してください。
- **スケジュール** – システムアップデートのスケジュールの設定についての情報は、「[アップデートをチェックするためのスケジュール作成](#)」の項を参照してください。
- **アップデートフィルタ** – スケジュールされたアップデートのフィルタオプションの変更と保存についての情報は、「[アップデートフィルタ設定の実行](#)」を参照してください。
- **インポート/エクスポート** – インポートおよびエクスポート設定についての情報は、「[エクスポートまたはインポート設定](#)」を参照してください。
- **詳細ドライバ復元** – ドライバライブラリをダウンロードする場所の設定についての情報は、「[詳細ドライバ復元設定の実行](#)」を参照してください。

デフォルトの復元をクリックして、すべての設定/カスタマイズを削除し、元のデフォルト設定に戻します。

 **メモ:** デフォルトの復元機能を使っても、ポリシーファイルのアップデートは元に戻りません。

一般設定

一般 タブでは、アップデートを保管する場所、アップデートをダウンロードする場所を変更し、インターネットプロキシを設定または変更することができます。一般設定を行うには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
設定画面が表示されます。
2.  **メモ:** Dell Command | Update は、アップデートのインストール後、この場所からアップデートファイルを自動的に削除します。
ダウンロードファイルの場所 で、**参照** をクリックして、ダウンロードしたアップデートを保存するためのデフォルトの場所を設定するか、デフォルトの場所を変更します。
3. **アップデートソースの場所** の下で **新規** をクリックして、アップデートをダウンロードする場所を追加します。詳細については、「[アップデートソースの場所](#)」を参照してください。
4. **インターネットプロキシ** で、以下のいずれかを実行します。
 - **現在のインターネットプロキシ設定を使用する** を選択して、システムで使用可能な現在のインターネットプロキシ設定を使用します。

- **カスタムプロキシ設定** を選択し、プロキシサーバーおよびポートを設定します。
- 5. **カスタムプロキシ設定** を選択し、かつプロキシ認証を使用する場合は、**プロキシ認証を使用する** チェックボックスを選択して、ユーザー名とパスワードの資格情報を入力します。
 - 📌 **メモ:** ユーザー名とパスワードの資格情報は暗号化されて保存されます。
- 6. 📌 **メモ:** Dell Command | Update が対話型実行で動作している場合、設定時刻後にスケジューラがアップデートをチェックするには Dell Command | Update を閉じる必要があります。これは、一度に実行できるのが 1 インスタンスのアプリケーションのみであること、およびスケジューラインスタンスが対話型インスタンスにブロックされるからです。

Ok をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。

アップデートソースの場所

アップデートソースの場所 には、すべての設定済みソース場所のリストが表示されます。デフォルトの場所は **ftp.dell.com** ですが、Dell Command | Update 向けに複数のソース場所を追加して、アップデートへのアクセスを試行し、チェックすることができます。

ソースの場所を追加するには、**新規** クリックしてファイルの場所に移動し、**catalog.xml** ファイルを選択します。選択したカタログファイルがソースの場所リストに追加されます。ソース場所エントリに関連する上下の矢印をクリックして、これらの場所の優先順位を決めます。リストからソース場所のパスを削除するには、**削除** アイコンをクリックします。

- 📌 **メモ:** Dell Command | Update は、正常にロードした最初のソース場所 / カタログを使用します。Dell Command | Update がリストされた各ソース場所をロードして、内容を集約することはありません。


アップデートチェックのスケジュール作成

システムのアップデートを自動でチェックするように Dell Command | Update を設定することができます。アップデートをチェックするためのスケジュールを設定するには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
 2. **設定** 画面で、**スケジュール** をクリックします。
 3. **アップデートを自動的にチェックする** → **アップデートのチェック** で、次のいずれかを選択します。
 - **手動アップデートのみ** – 手動でアップデートをチェックする場合はこのオプションを選択します。この場合、Dell Command | Update はスケジュールされたアップデートを実行せず、このページのその他すべてのフィールドが非表示になります。
 - **毎月** – Dell Command | Update でアップデートを毎月チェックする場合は、このオプションを選択します。
 - **毎週** – Dell Command | Update でアップデートを毎週チェックする場合は、このオプションを選択します。
- a. 📌 **メモ:** 時刻および日付を選択するオプションは、**毎月** および **毎週** オプションのみで使用することができます。
 - 📌 **メモ:** Dell Command | Update は、このフィールドに設定された時刻から 30 分以内に、ランダムな間隔でアップデートをチェックします。
 - 📌 **メモ:** 設定時刻後は、スケジューラによるアップデートのチェックのために Dell Command | Update を閉じる必要があります。


時刻の選択 で、Dell Command | Update がアップデートをチェックする時刻を選択します。
b. **日付の選択** で、Dell Command | Update がアップデートをチェックする日を選択します。
たとえば、Dell Command | Update が毎月 1 日の午前 10 時にアップデートをチェックするようにするには、**アップデートのチェック** で **毎月** を選択し、**時刻の選択** で **10:00 AM**、**日付の選択** で **1** を選択します。Dell Command | Update

4. **アップデートが見つかったとき** で、アップデートが見つかったときに Dell Command | Update が実行する必要があるタスクを次から 1 つ選択します。
 - 通知のみ (アップデートがある場合)
 - アップデートをダウンロード (インストール準備が完了したら通知)
 - アップデートをダウンロードしてインストール (完了後に通知)
5. **アップデートをダウンロードしてインストール (完了後に通知)** を選択した場合は、システムを自動的に再起動させるまでの時間間隔を選択します。
6. **OK** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。
アップデートをチェックするアクティビティをスケジュールした後でアップデートが使用可能になると、アップデートのリストが **インストールの準備完了** 画面に表示されます。

 **メモ:** スケジュールされたタスクを実行するには、Dell Command | Update を終了する必要があります。

アップデートフィルタ設定の実行

アップデートフィルタ タブで、アップデートのダウンロードおよび表示のためのフィルタを構成することができます。
アップデートフィルタ設定を行うには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**アップデートフィルタ** をクリックします。
3.  **メモ:** **システムモデル向けの全アップデート** オプションを使用してダウンロードされたアップデートには、お使いのシステムに適用されないものがある場合があります。

ダウンロード対象 から次のいずれかのオプションを選択します。

- **このシステム設定のアップデート (推奨)** – このオプションを選択して、お使いのシステムの設定に固有のアップデートをダウンロードします。
 - **システムモデル向けの全アップデート** – このオプションを選択して、システムモデルがサポートする全デバイスのアップデートをダウンロードします。
4. **アップデートのカスタマイズ** で、アップデート推奨レベル、アップデートのタイプ、デバイスカテゴリを選択します。
 5. **OK** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。

設定のエクスポートまたはインポート

インポート/エクスポート タブでは、構成設定を XML ファイル形式で保存することができます。XML ファイルを使用することにより、設定を別のシステムに設定を転送したり、設定を別のシステムからインポートすることもできます。これらの XML ファイルを使用して、組織内の Dell Command | Update インストールインスタンスすべてのために共通の構成設定を作成することができます。

構成設定をインポートまたはエクスポートするには、次の手順を実行します。



1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**インポート / エクスポート** をクリックします。
3. **設定のエクスポート** をクリックして、システムの Dell Command | Update 設定を XML 形式で保存します。この後、この XML ファイルを使って、設定を別のシステムにエクスポートすることができます。
4. **設定のインポート** をクリックして、以前にエクスポートされた設定の XML ファイルから Dell Command | Update 設定をインポートします。
5. **OK** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。

ポリシーファイル

ポリシーファイルでは、管理者がプログラム設定をロックして、他のユーザーが変更できないようにすることができます。ポリシーファイル内にプログラム設定が指定されていると、関連する設定が GUI で無効化されます。

ポリシーファイルの作成

ポリシーファイルを作成するには、次の手順を実行します。

1. サンプルシステムでスケジュール、プロキシ、およびフィルタなどの Dell Command | Update 設定を行った後、**設定のエクスポート** を使用してその設定をエクスポートします。設定のエクスポートについての詳細は、「[設定のインポート / エクスポート](#)」を参照してください。
これらの設定は、後ほど policy.xml ファイルとして設定したいクライアントシステムにインポートすることができます。
2. エクスポートした設定ファイル名を **policy.xml** に変更します。
3. **policy.xml** ファイルを開き、それを見直してロックしたい属性のみが含まれていることを確認します。
必要以上の設定がロックされている場合は、エクスポートした **policy.xml** ファイルからいくつかの設定を削除する必要が生じる場合があります。このファイルは、Dell Command | Update が使用できるようにインストールディレクトリに設置するようにしてください。
4.  **メモ:** Dell Command | Update はポリシーデータをロードしてポリシーファイルを削除するので、**policy.xml** ファイルは使用する前に別の場所に保存してください。保存したポリシーファイルは、ポリシー設定の変更に使用することができます。
 **メモ:** ファイルを **policy.xml** と命名し、それをインストールディレクトリに設置することは、Dell Command | Update がそのファイルをインポートされるポリシーファイルとして認識するために必要です。

policy.xml ファイルを Dell Command | Update インストールディレクトリに設置し、アプリケーションを起動します。

policy.xml ファイルデータの例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-16"?> <dellcommandupdate version="1.0"
doctype="settings"> <setting name="filtercriticality_urgent">True</setting>
<setting name="scheduledexecution">On</setting> <setting
name="scholeddays">1</setting> <setting name="scholeddminute">0</setting>
<setting name="filterapplicable">ShowAllForPlatform</setting> <setting
```

```
name="scheduledhour">12</setting> <setting name="scheduledfrequency">Monthly</
setting> <setting name="automationmode">ScanNotify</setting> </
dellcommandupdate>
```

ポリシーファイルへの設定の追加

ポリシーファイルに設定を追加するには、次の手順を実行します。

1. 保存した policy.xml ファイルを XML エディタで開き、有効な名前と値で新しい <setting> エレメントを追加します。
値の設定については、[設定と適用される値表](#)を参照してください。例：<setting name="scheduledminute">30</setting>
2. ファイルを XML ファイルとして保存して Dell Command | Update インストールディレクトリ内に設置し、アプリケーションを起動します。



メモ: Dell Command | Update はポリシーデータをロードしてポリシーファイルを削除するので、**policy.xml** ファイルは使用する前に別の場所に保存してください。保存したポリシーファイルは、ポリシー設定の変更に使用することができます。



メモ: ファイルを **policy.xml** と命名し、インストールディレクトリに設置することは、Dell Command | Update がそのファイルをインポートするポリシーファイルとして認識するために必須です。

設定と適用される値


設定	適用される値
AutomationMode	ScanNotify または ScanDownloadNotify または ScanDownloadApplyNotify または ScanDownloadApplyReboot
AutoReboot	True または False
AutoRebootSystemWait	15、30、または 60
Catalog	<カタログファイルへのパス>
DownloadPath	<ダウンロードディレクトリへのパス>
DriverCabPath	<ドライバ cab へのパス>
FilterApplicable	ShowAllForPlatform または ShowOnlyForSystemConfig
FilterCriticality_Optional	True または False
FilterCriticality_Recommended	True または False
FilterCriticality_Urgent	True または False
FilterDeviceCategory_Audio	True または False
FilterDeviceCategory_Chipset	True または False
FilterDeviceCategory_Input	True または False
FilterDeviceCategory_Network	True または False
FilterDeviceCategory_Other	True または False


設定	適用される値
FilterDeviceCategory_Storage	True または False
FilterDeviceCategory_Video	True または False
FilterUpdateType_Application	True または False
FilterUpdateType_Bios	True または False
FilterUpdateType_Driver	True または False
FilterUpdateType_Firmware	True または False
FilterUpdateType_Other	True または False
FilterUpdateType_Patch	True または False
FilterUpdateType_Utility	True または False
HiddenUpdatesList	アップデートのリリース ID をコンマで区切ったリスト
IsAdvancedDriverRestoreEnabled	True または False
ProxyAuthenticationEnabled	True または False
ProxyEnabled	True または False
ProxyPassword	UI でのユーザーエントリによって作成された暗号化パスワード
ProxyPort	ユーザー指定のプロキシポート値
ProxyServer	ユーザー指定のプロキシサーバー値
ProxyUserName	ユーザー指定のプロキシユーザー名
ScheduledDays	1~7
ScheduledExecution	Off または On
ScheduledFrequency	Weekly または Monthly
ScheduledHour	1~24
ScheduledMinute	1~60
ScheduledRebootWait	5、15、または 60

ポリシーファイルからの設定の削除

ポリシーファイルから設定を削除するには、次の手順を実行します。

1. 保存した policy.xml ファイルを XML エディタで開きます。
2. 削除する必要がある設定のエレメントタグを削除します。
例: `<setting name="scheduledminute">30</setting>`
3. ファイルを XML ファイルとして保存して Dell Command | Update インストールディレクトリ内に設置し、アプリケーションを起動します。

 **メモ:** Dell Command | Update はポリシーデータをロードしてポリシーファイルを削除するので、**policy.xml** ファイルは使用する前に別の場所に保存してください。保存したポリシーファイルは、ポリシー設定の変更に使用することができます。

 **メモ:** ファイルを **policy.xml** と命名し、インストールディレクトリに設置することは、Dell Command | Update がそのファイルをインポートするポリシーファイルとして認識するために必須です。

詳細ドライバ復元の設定

詳細ドライバ復元 タブでは、新品または整備済みシステム用にドライバライブラリをダウンロードする場所を設定することができます。

詳細ドライバ復元設定を行うには、次の手順を実行します。

1. バナーの見出しで、**設定** をクリックします。
2. **設定** 画面で、**詳細ドライバ復元** をクリックします。
3. **有効** をクリックして有効化、または **よろこ** 画面で **Windows 再インストールのための詳細ドライバ復元** オプションを無効化します。

この機能は、デフォルトで次のようになります。

- システムへの Dell Command | Update のインストール時に有効化されます。
- Dell Command | Update が工場出荷時にインストールされた場合は無効です。
- Dell Client System Update 1.3 から Dell Command | Update 2.0 以降にアップグレードすると、無効化されます。

システムでのドライバのインストール後、この機能は無効になります。


4. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - **Dell アップデート / サポートサイトからドライバライブラリをダウンロード (推奨) :** dell.com/support からドライバライブラリをダウンロードします。
 - **指定されたドライバライブラリを使用 :** ローカルまたはネットワークの場所からドライバライブラリをダウンロードします。**参照** をクリックして場所を指定します。
5. **Ok** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこ** 画面に戻ります。

デルサポートサイトからの文書へのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- 次のリンクを使用します。
 - すべての Enterprise システム管理マニュアル - dell.com/softwaresecuritymanuals
 - OpenManage マニュアル - dell.com/openmanagemanuals
 - リモートエンタープライズシステム管理マニュアル - dell.com/esmmanuals
 - OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル - dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
 - Serviceability Tools マニュアル - dell.com/serviceabilitytools
 - クライアントシステム管理マニュアル - dell.com/clientsystemsmanagement
 - OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル - dell.com/dellclientcommandssuitemanuals
- Dell サポートサイトから、
 - a. dell.com/support/home にアクセスします。
 - b. **製品の選択** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
 - c. **ソフトウェアとセキュリティ** グループボックスで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **エンタープライズシステム管理**
 - **リモートエンタープライズシステム管理**
 - **Serviceability Tools**
 - **クライアントシステム管理**
 - **接続クライアントシステム管理**
 - d. ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. dell.com/support にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域**の選択 ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。